哭情雜話

服部文庫
イ 17
2163

我既往の所作一無
情事に付我の時
なりしれさ記のこ

417
2163

一遊侠者中に訳する事

一男に先敬者中に訳する事

一法度を破る人のこと

一酒の上無礼を為す者は死罪に申付る

一博奕ハ文左衛門殿の事

一賭碁ハ数碁の勝負と申す

一囲碁将棋者堅法度の事

一婦人の事

一法度破申さる共此方事

遊侠者中に訳する事

一男に先敬者中に訳する事

一法度を破る人のこと

一酒の上無礼を為す者は死罪に申付る

一博奕ハ文左衛門殿の事

一賭碁ハ数碁の勝負と申す

一囲碁将棋者堅法度の事

一婦人の事

一法度破申さる共此方事

のものもよりかの男に為られ候ものと申

る者は法度を破ると申されよと申候人

に彼男を法度の為に申付る仕

先方に対し礼を申つる人に申つる事と

すべきものなり男に弱と云ふのこと申て

今面を出でたる時は仏のみこゝろや只
の位の花なるべしとゝもばみたまへ
只にこゝろをとゞめたる事なれば実ばかりて中高
下はるまきまきなれば光明のごとくなれば
只にふるまひたるものなれば
いまの人をいつくしみやとゞめられ
出面なるものゝ

只に失敬のもてなし中ばかり

只にあれてしらべて思ひ入れを失ふまゝ
人に人をうばわれたる時中ばかりあまきまゝ

只の例にもたとへられ只の面ばかりも用
捨なく失礼なるもの中ばかりなるもの
ばかりなるもの高ものにて高ものか
〻今ゝ耳にもたゞ高ものいと
ゝ高ものゝ中ばかりなるものゝとゝもばかり高ぎ
ものと中ばかりなる時ばかり二生者只通ずるの
ゝ高ものなるゝゝ中ばかりの不礼をあらす
礼なるべしばかりゝ高ものゝ中ばかりなるもの
礼なるべしばかりゝ高ものゝ只ばかりゝ通ずるもの
かゝゝやせ只をゝ只ばかりゝ通ずるもの

[illegible]

その人の中に[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]の戦のとりのこされ人かうかうの
酒の上二西表[illegible]紙[illegible]見[illegible]事
うに若き者[illegible]酒の上[illegible]行く彼者を
待ちうける[illegible]人[illegible]ばく長刀[illegible]て彼
若者と共に[illegible]一二[illegible]月もるを彼者を
[illegible]長刀[illegible]年待ちうける人の伝聞の内へ
かの[illegible]記者[illegible]内[illegible]いさ[illegible]飲[illegible]
へ[illegible]待ちうる者[illegible]時[illegible]上[illegible]
長刀[illegible]浮[illegible]方[illegible]ほ[illegible]

[illegible]
と[illegible]者[illegible]人[illegible]すこし
[illegible]一向[illegible]
時長刀[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]

て右の如く又持ものの心を出れば又家業を
也又是を世人に隠さるる興に入る隠居者
と是を国恥とす

執政に成る人の事

是を執政の中持威張者にて世人の中
の人に行るる程に又持威張を
上分別に成り者の中出る
る事に成るに逃れに相まる
出る人に成る事に成る国政
に下りて下に成る

彼威張者と成る者
に成る事出来るなり

執政威張者と成る者
に成る事に成る通り事
れば人の成る者に成る人
政の中の部分の者に成る

彼人中事に成る
の中の部分人事すて
成る者に成る国政
の中を取る者と成る
行る者に成る
彼威張者と成る者
に成る事出来るなり
執政威張者と成る者
に成る事に成る通り事
れば人の成る者に成る人
政の中の部分の者に成る

又執
の者

人をもて政を行はせ給ふ事なれば
[illegible]（特段）なれども彼人のひきまゝ
にて中なる事が事共をもて
行せられたる事なれば
[illegible]
[illegible]
又云政中定人自分の位をみい新
事と成なる事なれば
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

其の実を政の実にて別事
其事を弱くして政にて繁り酒色迷
惑も有如其の行状に[illegible]
過もなく只[illegible]（ひかせ）[illegible]て彼人かゝ
なる事行の彼の[illegible]（かゝ）[illegible]
[illegible]
と[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又ハ神を信仰いのり祈願をなすとも
[illegible]ものゝ風邪と為すこと
て当家ハ[illegible]
てなれハ[illegible]
[illegible]と御なる病[illegible]
なるすう脳[illegible]と為ハ[illegible]
[illegible]して[illegible]医者と[illegible]
[illegible]又ハ[illegible]
[illegible]や[illegible]十人の医者ハ十人
[illegible]たと一[illegible]

[illegible]
[illegible]十医ハ[illegible]
[illegible]
のこゝのゝ[illegible]十人の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

から一枚おせ少男も又私のこゝろを知れ姫を
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

して又さるべき所へ行て対面する者とて無れば
毎度出向ひ給ふ事なれども又は
度々おもはるゝ事なれども毎度
とゝさま度々出向給ひ中者あらざるかなれば
こゝかしこかしこかよけれいたらざるく
別事なれば家内物よいと云ふ話をする人も
居ると云ふ風説と云ふ事を聞りぬ又其
後も度々聞ぬ姫の母君いとゝ
諸侯藩中と有て家人合此合の
其に諸侯藩中に小人の悪き三四日の間ふ
噂のおかるゝと又ふ所噂の事
しなるおかるに中に家内
出かけ居るべしとて家内
後の中にいたる家人
藩主の事の事なれば
人の中に出度なれば大出来事
あれば其家内の中に
るべしと人の義理
されども望なれば
事なるべしとい
て一人中にて

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]人の出入をして言葉を[illegible]
[illegible]のそばにて[illegible]を[illegible]
[illegible]と云ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

也又二人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

天保九年戊戌閏月　服元彰